

11月14日に開催されたえひめインタラクティブ学習フェスタ（主催 高校教育課）について紹介します。授業におけるICT機器の活用状況や課題等について情報を共有することを目的として開催されました。今治西高校、松山商業高校、松山東高校でタブレット端末及び電子黒板を活用した授業参観があり、その後、3校の実践報告がありました。



【今治西（オンライン英会話）】

今治西高校の授業では、タブレット端末を用いてオンラインで英会話を学んでいました。先生と生徒がともに笑顔で取り組んでいて、英語でコミュニケーションを取る楽しさを実感していました。松山商業高校と松山東高校の授業では、今年度導入されたワイードを活用していました。その中で、電子ペン機能を上手に使って生徒たちが発表していたり、2画面分の広さを生かして教員がワークシートと地図を横に並べて説明したりしていたのが印象的でした。それぞれの授業に対する感想や意見は、Web上のチャットルームに書き込むことで集約し、全体で共有できるようにしていました。



【松山商業（ワイード活用）】

実践報告では、「授業でICT機器を活用している教員が増え、その結果として授業が分かりやすくなったと感じている生徒が多くなった」というアンケート結果の報告があり、ICT機器を活用する有効性を全体で確認することができました。また、今治西高校の報告については、ESnetが提供しているWeb会議システム「Meeting Plaza」で、全体会の会場となった松山東高校とつないで行いました。



【松山東（ワイード活用）】

学習フェスタ全体を通して、「分かりやすく深まる授業」を実現するICT機器の可能性を実感することができました。



【実践報告（Web会議システム）】